

2023年3月期 第3四半期電話会議 質疑応答

日時 : 2023年2月7日(火) 16時00分~17時00分

形態 : 電話会議

当社登壇者: 取締役執行役員 鈴木 健二
経営管理部長 佐藤 康範

【グループ全体】

Q.中計2年目の営業利益計画340億円に対し、現時点での見立てを教えてください。

A. 現在、次期計画数値を組み立てている最中ですが、335億円から340億円を目指していきます。セグメント別では、今期の進捗なども勘案しながら若干修正が必要になると考えていますが、加工食品が来期の増益をけん引するドライバーになるとの見方に変化はありません。

【加工食品事業】

Q.来期の業績の考え方について教えてください。

A. 主な減益要因は今期同様、円安影響や原材料・仕入コストの上昇、動力燃料費や物流費、減価償却費の増加などがあります。為替は足元ではやや円高傾向にありますが、原材料では卵などが上昇しています。これらに対して、今期行った価格改定の継続効果に加え、販売増加や生産性改善、海外事業の収益性向上などにより増益を目指していきます。

Q.海外について、米国・タイ事業の成長は継続するのか。

A. 北米では、イノバジアン・クイジーン社において、新商品の導入もごさいますし、昨年子会社化した米飯の生産会社に当社の生産管理・技術力を加え、生産・販売の一体運営により収益を伸ばしていきます。

タイのGFPTニチレイでは、今期好調の反動が若干あるかもしれませんが、第二工場の稼働向上に加え、タイ国内や第三国向けの販売拡大を図っていきます。

【低温物流事業】

Q.営業利益増減要因で、集荷増による業績影響額の項目に対し「荷動きが鈍化している」という説明があったが、来期も影響が続くのか。

A. 第3四半期から、想定以上に荷動きが鈍化し入出庫の回転が低下しましたが、年明け以降、状況が緩やかに改善に向かっております。

以上

※当文書は当日の質疑応答内容をすべて記録したのではなく、株式会社ニチレイが編集を加えております。